

1 概要

【コロナ、その中での特別展】 新型コロナウイルス感染者数が増減を繰り返し、それに伴いまん延防止等重点措置が適用されたり解除されたりと、翻弄される事態が続いた。9月には3日から16日まで休館措置が取られた。そういったことが人々の行動を抑制気味にし、入館者数にも影響が及んだと考えられる。その結果、年間入館者は 5586 人。感染が広がり始めた令和2(2020)年度の3000人台から盛り返したとはいえ、平成30年度と令和元年度の7000人台にはまだ及ばない。その中で裏千家淡交会新潟支部創立70周年を記念した特別展「會津八一と茶の湯の世界」は入館者3041人と大健闘した。京都・茶道資料館から門外不出の所蔵品を借りて展示できたことによる話題性と、同支部の全面的な協力もあり、特別展では平成28(2016)年度(3031人)の特別展「究極の趣味人-會津八一と川喜田半泥子-」以来の3000人台を記録した。

【生誕140年】 ①「名品集」完成 會津八一が生まれて140年。その記念事業として館所蔵作品の中から八一の代表作50点を選んで一冊にまとめた。それが「名品50選-獨往」だ。以前、大判でしかも3分冊の作品集を出しているが、今回は手元でいつでも開いて鑑賞できるものを目指して取り組んだ。

②「八一の碑 新潟編」発刊 県内にある八一の碑26基を紹介する冊子。3年前の「奈良・京都編」の姉妹編だ。4年度はこれを片手に新潟市内の主な碑を見て回るツアーを予定している。

③八一祭(7月31日) 令和元(2019)年度の第1回に続き(2年度はコロナのため中止)、俳優で書家の松村雄基さんと書家で新潟大学准教授の角田勝久さんによる八一の書を語るトークイベントを実施した。開催中の企画展「学規と教育」にちなみ、教育者としての八一の姿を2人が語り合った。今回は2人が筆をとって聴衆の前で八一の学規ほかを揮毫する姿を聴衆に見てもらった。八一ファンにも書道愛好者にも雄基ファンにも大好評だった。

④テレビ番組「ふかくこの生を愛すべし」 八一祭に出演した松村雄基さんと新潟市の高校生・大学生3人が八一ゆかりの地を訪ね、作品に込められた八一の思いを改めて知るといふ特別番組(3年8月21日放映)。10代の若い人にも會津八一のことを知ってもらおう狙い。新潟放送には、こちらの思いつき程度の内容を素晴らしい形にしていた。

【連続講座】 3年5月～10月、月1回の割合で野中館長による連続講座「書に親しむ」を開いた。9月は2週間の休館があったので、最終回は11月にずれ込んだ。鑑賞に重点を置いた話に、熱心な書道愛好家が耳を傾けた。

【講演会】 6月に俳人中原道夫さん、7月に八一の母校早稲田大学から會津八一記念博物館長の肥田路美先生を招いて、11月には茶道資料館の副館長伊住禮次朗さんに来ていただき開催。会場の日報ホールは、感染を防ぐ意味から募集人数を制限しなければならなかった。

【写真コンテスト】 前回は10点上回る175点(111人)の応募があった。しかし、表彰式・講評会は、まん延防止等重点措置が出されていた期間で、やむなく中止した。

【普及活動】 聖徳太子の1400回忌を迎えた法隆寺(八一歌碑「ちとせあまり みたびめぐれる ももとせを…」がある)に、八一が法隆寺の百済観音を詠んだ短歌をしたためた色紙50枚を寄贈。また2年度に実施したシンボルマーク募集に全校で応募してくれた福島県の会津坂下中学校に学校賞ともいふべき額装「学規」を贈呈した。

2、事業の内容

(ア) 展覧会事業

常設展経費 2,582,258円(2年度=3,446,639円=比25%減) / 特別展経費 4,615,941円(2年度=1,303,262円=比254%増)

※2年度は特別展を開催しない代わりに常設展を4回実施した。

	2年度 入館者数	2年度 開館日数	2年度 入館累計	3年度 入館者数	3年度 開催日数	3年度 入館累計
4月	66	12	66	199	22	199
5月	67	18	133	278	26	477
6月	247	25	380	392	24	869
7月	271	21	651	414	23	1283
8月	243	26	894	222	27	1505
3～16日休館	328	20	1222	130	8	1635
10月	394	27	1616	1117	26	2752
11月	529	25	2145	1214	25	3966
12月	211	18	2356	779	17	4745
1月	200	24	2556	270	24	5015
2月	447	24	3003	196	24	5211
3月	450	24	3453	375	24	5586
合計	3453	264		5586	270	

3年度観覧料収入=総額 1,817,267円 (特別展 1,130,797円 常設展 686,470円)

【特別展】＝本年度は會津八一生誕 140 年記念を展示タイトルの冠として表記した

### 會津八一生誕 140 年/裏千家淡交会新潟支部創立 70 周年記念特別展「會津八一と茶の湯の世界」

会 期：令和 3 年 1 0 月 2 日（土）～1 2 月 1 2 日（日） 開催日数 6 2 日間 図録 615 冊販売

会 場：新潟市會津八一記念館

入館者数：3, 0 4 1 人

（前年度＝コロナ感染拡大の為中止：令和元年 10 月 9 日～12 月 15 日 「富本憲吉と會津八一」 2, 300 人）

主 催：公益財団法人會津八一記念館、新潟市、新潟日報社、BSN 新潟放送

特別協力：一般社団法人茶道裏千家淡交会、茶道資料館、一般社団法人茶道裏千家淡交会新潟支部、  
一般社団法人北方文化博物館

協 力：浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

後 援：読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、産経新聞新潟支局

日本経済新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局

NHK 新潟放送局、NST 新潟総合テレビ、TeNY テレビ新潟、UX 新潟テレビ 21、胎内市

裏千家淡交会新潟支部創立 7 0 周年を記念し、「八一と茶の湯」をテーマに企画した。八一はお茶を点てて来客にふるまうことはしなかったが、晩年は伊藤家別邸の北方文化博物館分館に住み、その茶室の名を「坐忘」と命名して揮毫したり、伊藤家が所蔵する茶碗の鑑定を行ったりしている。1 9 5 1（昭和 2 6）年には、裏千家淡交会初代新潟県支部長に就任するなど、茶の湯との関わりが少なからずあった。

展覧会では、京都の裏千家センター内にある茶道資料館をはじめ、北方文化博物館などの所蔵品を中心とした作品資料 80 点を展示、多岐にわたる八一と茶の湯との接点を紹介した。また、狩野探幽が描いたと伝わる《寒雲亭襖絵》とその写しをともに県外初公開として陳列した。展示空間の演出として、襖絵の画像シートを展示室入り口の自動ドア両面に貼り付けた。アンケートでは、「襖絵の自動ドアから展示室に入っていくのは面白かった」と好評だった。また、普段見る機会のない裏千家歴代家元の茶道具類を鑑賞することが出来たとか、八一と茶の湯との関わりを知る機会を得てよかったなど、満足度の高い展示だった。一方、来館者の影で、のぞきケースに陳列した茶碗が見つらいとの不満もあった。照明方法を工夫するなど今後の課題を残した。

### 【企画展】

#### ①八一を知る 八一がわかる 俳句編

会 期：令和 3 年 4 月 6 日（火）～6 月 27 日（日）

開催日数：72 日間 簡易図録 109 冊販売

入館者数：869 人（前年度＝春「心の旅」 479 人）

八一の広範な学芸領域のなかで、もっとも早く才能が開花した俳句に焦点をあてて企画した。八一は一般に歌人として、書家として知られているが、実は 18 歳から 48 歳まで句作し、その数 1293 句を残している。俳号を八朔郎と名乗り、俳句革新をめざす正岡子規に啓発されて、青年時代は俳句に熱中していた時期があった。

展覧会では、その様子を俳句作品の墨蹟や原稿、書簡、雑誌などで紹介。若き日、俳句に熱中した八一の文芸世界に迫った。そのほか、八一が発見した小林一茶直筆の《文化句帖》（通称・六番日記）や、同時代の俳人（正岡子規、河東碧梧桐、高浜虚子、高野素十、中田みづほ）らの俳句作品も陳列した。同時に、写真家・浅井慎平氏が昨春当館に寄贈してくださった自作の俳句と写真のコラージュ作品「ハイクグラフィー」53 点を披露した。コロナ禍による影響で、新潟市内からの来館者の割合 71%で高水準、一方、県外からの来館者の割合は 7%で低水準。だが、テーマやタイトルの影響からなのか、初めて来館した割合が 43%、2 回目 30%と高い水準となった。八一の俳句作品を纏めて紹介する機会があまりなかっただけに、「その広範囲な学芸領域に感心した」とか、「正岡子規との交流があって驚いた」との感想を得た。本展示だけに限らないが、展覧会情報を広くマスコミに広報してほしいとの要望あり。SNS などの活用方法にも目を向けるべきかもしれない。

#### ②「学規」と教育

会 期：令和 3 年 7 月 6 日（火）～9 月 23 日（木・祝）

開催日数：58 日間（当初 70 日間、臨時休館 12 日）簡易図録 79 冊販売

入館者数：766 人（前年度＝夏「新収蔵品展～新たなる発見～」 743 人）

會津八一が大正 3 年に定めた「学規」を中心に、教育者としての側面を紹介した。八一は、有恒学舎、早稲田中学校、早稲田大学などで教鞭をとり、多くのすぐれた門下生を輩出している。全人格的教育を標榜した八一が生んだ言葉が「学規」で、人としての生き方を端的に示し、人々に生きる希望や勇気を与えてくれる珠玉の言葉といえる。現在、「学規」は高校書道の教科書などでも掲載されており、それらも一緒に展示した。また、当館と

姉妹館協定を結ぶ早稲田大学會津八一記念博物館は、八一が収集した美術資料などを所蔵し、現在も学生たちに活用されているが、本展では拓本など、その一部資料を借用。さらに、新潟市立万代長嶺小学校所蔵の書「涵之如海 養之如春」や新潟大学が所蔵する八一作品などを展示し、教育現場に残る八一の作品資料から教育への関わりを紹介した。

展覧会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、9月3日から16日まで臨時休館となった。アンケート集計を見ると、新潟市内からの来館者の割合が72%と高水準だった一方で、県外来館者の割合7%と大幅に減少した。展示の満足度も例年並みで、「静かでゆったりと観賞できた」との声もあった。

### ③『全歌集』刊行70年 會津八一の短歌と生活

会 期：令和3年12月21日（火）～令和4年3月27日（日）開催日数78日間。簡易図録42冊販売  
入館者数：910人（前年度＝「會津八一記念館ゆかりの作家31人が選ぶ 私の好きな八一の書」1,157人）

身近な自然や生活を詠んだ會津八一の短歌を中心に、当館の収蔵品を紹介。特に、大正11年から約13年間、八一が住んだ東京の郊外・下落合を詠んだ短歌「村莊雑事」は、画家・安宅安五郎旧蔵の額装作品をはじめ、折帖、軸などを展示した。「村莊雑事」を詠んだ時代の八一は、早稲田中学校の職を辞し、経済的に大変厳しかったという。その生活で見つけた美の断片を切り取った短歌は、奈良の美術や風景を詠んだ短歌とはまた違う魅力を発しており、来館者からは、八一の暮らしに「触れた」との声をいただいた。

また、本展では晩年使用していたインバネスコートや雪下駄、新潟眼鏡院で購入した眼鏡など、八一の生活にまつわる珍しい資料も展示した。折りたたみ式の将棋盤は、昭和25年4月に新潟市古町通3番町で購入したことが裏面に記され、老子の言葉も追記されている珍品で、アンケートでは、八一をより身近に感じられた、という声をいただいた。

開催期間中は、コロナ禍でまん延防止等重点措置が実施され、写真コンテストの表彰式、講評会のイベントが中止になるなど、一部の活動を制限しなければならなかった。

（展示に対する評価）＝入館者アンケート結果（○は好評、△は不評）

回答者数538名（回答率9.6%） ※前年302名 回答率8.7%

展覧会名	作品解説の評価	展示量の評価	全体的評価
茶の湯の世界	○ 90% △ 8%	○ 85% △ 14%	○ 95%（とても良かった62%、良かった33%） 普通 4%
八一を知る八一がわかる 俳句編	○ 90% △ 7%	○ 90% △ 9%	○ 93%（とても良かった53%、良かった40%） 普通 6%
学規と教育	○ 97% △ 2%	○ 88% △ 12%	○ 93%（とても良かった65%、良かった28%） 普通 4%
短歌と生活	○ 94% △ 5%	○ 87% △ 13%	○ 97%（とても良かった60%、良かった37%） 普通 3%
合計	○ 92% △ 6%	○ 86% △ 13%	○ 95%（とても良かった61%、良かった34%） 普通 4%

（接客に対する評価）良い63% 普通36% 悪いor無回答1%

（主な来館者）※当館理事、評議員は除く

4月＝裏千家淡交会新潟支部長竹石松次氏、書家佐藤雅風氏（7日）、声楽家小川恒子氏（8日）新潟市立歴史博物館大森学芸員（11日）、榊GRAMスリー代表 坂本明氏（13日）、北方文化博物館館長神田勝郎氏（17日）  
全国良寛会名誉会長長谷川義明氏（20日）

5月＝書家伊藤省風氏（3日）、かき正橋本宏氏、ウメ氏（5日）書家今井昭友氏（16日）、書家菅井松雲氏（22日）  
早稲田大学會津八一記念博物館研究員椋橋彩香氏（25日）、新潟大学名誉教授橋本博文氏（26日）

6月＝北方文化博物館理事長伊藤勝也氏（1日）、江戸千家家元川上宗雪氏、中野宗順氏（2日）、美術史家山浦健夫氏（8日）、新潟県博物館協議会顧問徳永健一氏（23日）、書家三膳春雪氏（24日）

7月＝天青社南加乃子氏（6日）、書家伊藤路可氏（22日）、書家大井岳陵氏（27日）、俳優松村雄基氏（31日）

8月＝インテリアかろう窪田明則社長（4日）

10月＝平安堂中村正平氏、大倉洋一氏、富江洗心堂、もろはし美術店、大矢紀氏（2日）書家菊田竹子氏（4日）、

田中泰阿弥研究会三鍋光夫氏（7日）、八一研究家財前謙氏（8日）、万葉洞元社員大濱正氏（9日）、裏千家家元千宗室氏、茶道資料館副館長伊住禮次朗氏、裏千家淡交会米田氏（10日）、元新津美術館館長横山秀樹氏（12日）、作品寄贈者三井田忠明ご夫妻（15日）、力弥、辻仁三郎氏（17日）、作品借用者滝沢氏（19日）、文信堂会長西村俊男氏（21日）、北方文化博物館学芸員伊里氏（26日）、鑑定委員高島義彦氏（30日）

11月＝書家桑山戯魚氏、ギャラリー81 オーナー吉村光氏（5日）、新潟県立歴史博物館館長斎藤良人氏、全国良寛会会長小島正芳氏（6日）、作品寄託者川越尚子氏、借用者岡井一子氏、寄贈者田中光子氏（7日）、北方文化博物館伊藤文吉夫人（9日）、借用者丹後英彦氏（11日）、陶芸家齋藤尚明氏（13日）、BSN アイネット社長梅津雅之氏（24日）、寄贈者村山紀子氏（28日）

12月＝寄贈者鶴田邦子氏（4日）、BSN アナウンサー中津川英子氏（10日）

4年1月＝新潟絵屋田代氏、文芸評論家若月忠信氏（7日）、書家山田修也氏（20日）

2月＝新発田市観光振興課市島邸伊藤氏、新潟県書道協会事務局長狩野芳明氏（9日）、新潟県書道協会理事長樋口志保氏（16日）、新潟県立万代島美術館館長桐原浩氏（17日）、書家林君枝氏（18日）、小川和恵氏（23日）

3月＝坂井精機社長兼プロレスラーマッスル坂井氏（2日）、書家丘山三槐氏（9日）、サントリー副社長夫人、岩の原ワイン社長、書家和田紫陽氏、書家立川井梧氏（25日）、福岡教育大学教授服部一啓氏（27日）

### （イ）講演会事業

#### 【記念館自主企画】

八一祭記念トークイベント（有料 1,000円）

テーマ：「想いを形に～美を求めて」

対談：松村雄基氏（俳優）、角田勝久氏（新潟大学准教授）午後2時～4時

会場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：108人

特別展記念講演会（有料 500円）

テーマ：11月27日（土）「會津八一と裏千家茶道～和敬清寂のこころ」

講演者：伊住禮次朗氏（茶道資料館副館長）

会場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：116人

①企画展関連 文芸講演会（有料 500円）

テーマ：「生きる糧、俳句」

講師：中原道夫氏（俳人、新潟日報俳句選者）

日時：令和3年6月13日（日）午後2時～3時半

会場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：107人

②企画展関連 第2回文芸講演会（有料 500円）

テーマ：「會津八一先生が早稲田大学に遺したもの」

講師：肥田路美氏（早稲田大学會津八一記念博物館長）

日時：令和3年7月24日（日）午後2時～3時半

会場：ナレッジルーム（新潟日報メディアシップ6階）

入場者：56人

(ウ) 普及活動事業

①野中館長連続講座「書に親しむ」 会場：日報ホール（有料 6回連続 2500円 1回 500円）

- 第1回目 5月16日（日）「書に親しむ」 104人参加
- 第2回目 6月22日（火）「書の鑑賞」 87人
- 第3回目 7月18日（日）「書の表現形式」（1）97人
- 第4回目 8月10日（火）「書の表現形式」（2）79人
- 第5回目 9月7日（火）「拓本の世界」 ※新型コロナ感染症拡大のため10月に延期
- 第5回目 10月24日（日）「拓本の世界」 80人
- 第6回目 11月21日（日）「文房清供」 75人

②作品解説会

- ・新潟市會津八一記念館企画展＝講師：野中館長、喜嶋、湯浅学芸員  
野中館長：令和3年8月29日（日）、11月7日（日）、令和4年2月20日（日）  
学芸員：企画展会期中 第2、4日曜日 午前11時～正午

③出前講座＝その他の団体主催による講演

- ・5月8日（土） 講演：「會津八一と奈良美術」  
主催：豊栄中高年教養大学 会場：豊栄公民館 講師：湯浅学芸員 40人
- ・5月19日（水） 講演：「歌びと・會津八一」  
主催：東京学館新潟高校2年生書道コース 会場：東京学館新潟高校 講師：喜嶋学芸員 42人
- ・7月4日（日） 講演：「没後65年・會津八一と宮城道雄」  
主催：荻川コミュニティー振興協議会生涯学習部  
会場：秋葉区荻川コミュニティーセンター 講師：喜嶋学芸員 36人
- ・7月14日（水） 講演：「私の好きな八一の書～ゆかりの作家31人が選ぶ」  
主催：亀田福寿大学探訪部 会場：新潟市亀田市民会館 講師：喜嶋学芸員 45人
- ・10月27日（水） 講演：「會津八一について」  
会場：胎内市立黒川小学校6年生 講師：喜嶋学芸員 42人
- ・12月24日（金） 講演：「會津八一について」  
会場：坂井輪中学校 講師：湯浅学芸員 20人

④所蔵品貸出展覧会

- ・にいがた文化の記憶館企画展 所蔵品1点貸し出し  
生誕130年「松岡讓」  
令和3年7月27日（火）～11月3日（水・祝） にいがた文化の記憶館

⑤第14回秋草道人賞写真コンテスト入賞入選作品 巡回展

会場	開催期間	備考
1 ミュゼ雪小町（上越市）	4月10日～4月25日	入賞入選30点、複製作品
2 奈良県立図書情報館	6月22日～7月4日	入賞入選30点
3 いかるがホール（奈良県斑鳩町）	7月11日～7月31日	入賞作品7点
4 中村屋サロン美術館	8月7日～9月5日	入賞入選30点
5 高松市市民活動センター	10月5日～10月30日	入賞入選30点、複製作品、浅井慎平作品
6 胎内市産業文化会館（中条會津八一会）	11月12日～11月14日	入賞入選30点

※夏に予定していた三千院（京都）はコロナ禍のため中止した。

## ⑥出版関係

- ・新潟市會津八一記念館所蔵「會津八一名品 50 選」の刊行  
編者と発行：會津八一記念館  
形状：A4 判 88 頁カラー  
収録：會津八一記念館所蔵品のなかから、漢字、かな、書簡、原稿 50 件の作品図版と解説、會津八一の略年譜（付録『與奥田勝書』A2 判の図版つき）
- ・「會津八一の碑」新潟編  
編者と発行：會津八一記念館  
形状：A5 版 48 頁カラー  
収録：新潟県内にある會津八一の歌碑と揮毫碑 26 点の図版と解説、地図、會津八一の随筆とスナップ
- ・八一往復書簡集「雁魚来往」第 9 集の刊行  
編者：雁魚来往研究会（近藤悠子氏、角田勝久氏、本多和宏氏）  
発行：會津八一記念館  
形状：A4 判 96 頁  
収録：小山富士夫、喜多武四郎、齋藤三郎と會津八一の往来書簡と會津宛河合卯之助の図版、読み下し文、註釈、関連資料図版を掲載

## ⑦その他

- ・博物館実習受け入れ  
期間：令和 4 年 1 月 10 日（月祝）～16 日（日）  
学生：1 人＝ 新潟大学人文学部人文学科 西洋言語文化学専攻 4 年生

### (エ) 学習講座

- ・會津八一の歌を読む会 講師：若月忠信氏（文芸評論家）  
砂丘館 毎月第 1 土曜日 受講者 13 人

### (オ) イベント

- ・「會津八一の歌を映す」第 1 5 回秋艸道人賞写真コンテスト（総事業費 2,049,968 円）

公募期間 4 月から 11 月（作品搬入 11 月 3 日～14 日）  
応募点数 175 点（前回 165 点）  
応募人数 111 人〈県内 80 人 県外 31 人〉（前回 107 人）  
審査委員 浅井慎平（委員長）、若松保広、和泉久子氏の 3 氏  
審査会 11 月 29 日（月） 14 時～17 時 日報ホール  
審査結果 秋艸道人賞に新潟市東区の吉原徹さん  
奨励賞は 6 点（県内 5 人、県外 1 人）、入選は 22 点（県内 15 人）  
記者発表 11 月 30 日（火） 午前 10 時～  
新潟県庁内の県政記者クラブ 浅井委員長、野中館長、高岡事務長  
授賞式 作品講評会＝新型コロナ感染症拡大により中止

### (カ) 鑑定会

（経費 192,060 円）

春の部	令和 3 年 6 月 2 日（水）	総点数 13 点	認定数 7 点	収入 330,000 円
秋の部	令和 3 年 10 月 30 日（土）	総点数 10 点	認定数 9 点	収入 370,000 円

(キ) 新収蔵品

- 寄贈 會津八一の墨蹟 10点  
會津八一の原稿 1点  
會津八一の書簡 1点  
○購入 會津八一書《千曲館》看板原稿 未表装 1点 1点 (購入金額 500,000 円)

寄贈と購入＝合計 13 点

(ク) 販売活動

- ・「学規」割引セール 実施期間 3 年度 (3 年 4-5 月、4 年 2-3 月)  
額装 6 点 色紙 11 点 販売合計 114,150 円

(ケ) 広報活動

①新聞

〔新潟日報〕

<記事>93 回 令和 2 年度・記事 78 回)

「展覧会へようこそ」4 回 (朝刊文化欄)

ほかに特集記事 (會津八一生誕 140 年、特別展、写真コンテスト入賞作品紹介)、  
企画展話題、募集・お知らせ

<広告>新潟日報 142 回

- ・企画展、特別展 100 回<新潟日報朝刊、おとなプラス> (令和 2 年度 93 回)
- ・「学規」販売広告 30 回<同> (令和 2 年度 23 回)
- ・作品鑑定会告知 5 回＝朝刊 1 面 (令和 2 年度 3 回)
- ・館長講座募集告知 3 回＝朝刊 1 面とおとなプラス
- ・特別展講演会募集締め切り告知 1 回＝朝刊 1 面
- ・写真コンテスト表彰式開催中止告知 1 回＝朝刊 1 面
- ・名刺広告 2 回＝ (メディアシップ開業 8 周年＝「八一がわかる」展告知、  
新年企画＝「短歌と生活」展告知＝朝刊)

〔讀賣新聞〕

記事 1 回 1 本 (2021 年 8 月朝刊「興福寺を醸す新たな日本酒」)

②テレビ、ラジオ

〔BSN 新潟放送〕

○テレビ：特別番組「ふかくこの生を愛すべし」

- ・2021 年 8 月 21 日 (土) 16:00～16:30 放送

八一祭に出演した松村雄基さんと新潟市の高校生・大学生 3 人が八一ゆかりの地を訪ね、作品に  
込められた八一の思いを改めて知る番組

：「BSN ニュース ゆうなび」2 本

- ・2021 年 10 月 4 日 (月) 18:15～ 放送「會津八一と茶の湯の世界」開幕
- ・2021 年 11 月 23 日 (火祝) 18:15～ 放送「會津八一と茶の湯の世界」来場者 2000 人

○CM：テレビ 275 本

- ・9/1～10/1「會津八一と茶の湯の世界 前売り券販売中」15 秒 (104 本) / 30 秒 (22 本)
- ・10/2～11/7「會津八一と茶の湯の世界 開催中①」15 秒 (56 本) / 30 秒 (17 本)
- ・11/9～12/12「會津八一と茶の湯の世界 開催中②」15 秒 (54 本) / 30 秒 (22 本)

ラジオ 179 本

- ・9/1～10/1「會津八一と茶の湯の世界 前売り券販売中」30 秒 (47 本)
- ・10/2～11/7「會津八一と茶の湯の世界 開催中①」30 秒 (57 本)
- ・11/9～12/12「會津八一と茶の湯の世界 開催中②」30 秒 (75 本)

ラジオ番組中継

- ・10/12 (火)「3 時のカルテット」内スナッピー中継 喜嶋学芸員出演

○ BSN HP

- ・10/1～12/12 BSN イベント内 ページ開設

③市報にいがた

展覧会＝月 1 回全 12 回 イベント案内 2 回（市報にいがた別冊内）

**（コ）学校団体見学**

10 校 289 人＝中学校 7 校、高校 3 校（令和 2 年度＝3 校 59 人＝中学校 1 校、高校 1 校、聾学校 1 校）

4 月 21 日	新潟市立宮浦中学校	5 人
5 月 12 日	新潟市立大形中学校	5 人
5 月 21 日	新潟市立白根第一中学校	10 人
6 月 18 日	清心女子高等学校	17 人
7 月 9 日	新潟市立関屋中学校	8 人
7 月 28 日	埼玉県立大宮光陵高校	96 人
10 月 13 日	新潟県立高田北城高校	34 人
11 月 15 日	新潟市立白南中学校	49 人
11 月 25 日	新潟市立両川中学校	16 人

令和 4 年

3 月 3 日	新潟市立白南中学校	49 人
---------	-----------	------